

防災特集

# 風水害に備える

2019年は、8月の九州豪雨に始まり、台風15号・19号と、日本全国で風水害による大きな被害がありました。今後も、地球温暖化の影響などにより、さらに激しい大雨や台風が発生すると言われています。

次の災害に備えるために、各自治会活動で行っている防災訓練に参加したり、ハザードマップを活用し、各家庭で危険箇所や避難所・避難経路などを確認しておきましょう。また、早めの避難を心がけ、非常時の持ち出し品の確認を行いましょう。

☎ 地域安全課 ☎801-5782

S57.7.23長崎大水害(長与川の決壊・氾濫)

防災に関する知識がどれくらいあるかまずはクイズに挑戦してみよう!



## 防災クイズ いくつ正解できるかな?

**Q1** 「171」に電話。さてどこにつながる?

- ①消防署
- ②災害用伝言ダイヤル
- ③時報



**Q2** 大雨が降って避難する時、靴は何をはく?

- ①ビーチサンダル
- ②長靴
- ③運動靴



**Q3** 次のうち、健康な人はどの段階で避難し始めるべきでしょう?

- ①避難準備・高齢者等避難開始
- ②避難勧告
- ③避難指示(緊急)



**Q4** 台風は、1年間におよそどれくらい発生するでしょう?

- ① 5 個
- ② 15個
- ③ 25個



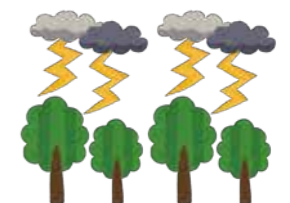
**Q5** 大人ひとりに必要な飲料水は、1日何リットルくらいでしょう?

- ① 1リットル
- ② 3リットル
- ③ 5リットル



**Q6** 公園で遊んでいると、雷が鳴り、大雨が降り出したので、大きな木の下で雨宿りをした。

○か×か。



**Q7** 台風が来た時は、頑丈な地下に逃げ込むのが安全である。

○か×か。



**Q8** 災害時の食べ物は、災害が発生してからでも必要な分だけ入手できるので、普段から買っておく必要はない。

○か×か。



- 《クイズの答え》
- Q1…② 「171」に電話すると、案内に従って録音や再生ができます。1回に録音できるのは30秒まで。保存期間は48時間です。毎月、1日・15日などに体験可能日が設定されています。一度、練習してみましょう。
  - Q2…③ 長靴だと水が入って動けなくなるかもしれません。動きやすく脱げにくい「運動靴」が正解です。
  - Q3…② 健康者であっても、「避難勧告」が発令された時点で避難を開始してください。
  - Q4…③ 北西太平洋の海上で発達した熱帯低気圧のうち、最大風速17m/s以上のものを「台風」と呼びます。年間で約26個の台風が発生し、そのうち約3個が日本に上陸しています。
  - Q5…② クーラーの使えない夏場を考慮した場合、1日4リットル以上は必要と言われています。
  - Q6…× 雷は高い場所に落ちる可能性が高いため、木の下は危険です。建物の中や、車の中に避難しましょう。
  - Q7…× 地下には地上の冠水が流れ込んでくる恐れがあり、水圧でドアが開かなくなる可能性もあります。避難する際は、頑丈な建物の2階以上に避難しましょう。
  - Q8…× 災害が発生した時に生き抜くためには、普段からの備えがとても重要です。役場が用意する食料には限りがありますので、我が家に必要な物は我が家で備えておきましょう。

これからが本番!

# 台風・大雨に備えましょう。



これからの季節、集中豪雨や台風時の大雨による災害が心配されます。災害はいつ発生するかわかりません。被害を最小限に防ぐために日頃の備えについてもう一度点検しておきましょう。

みなさまにお願いします

## 避難所における感染症拡大防止の対応へのご理解・ご協力について

災害時の避難所過密による感染症拡大防止のため、今年度は特に以下のご協力をお願いします。

### ①親戚・友人宅などへの避難を検討する

…台風や大雨は事前に規模や接近の日時が予測しやすいため、可能な場合は、できるだけ親戚や友人宅への避難を検討してください。

### ②健康状態を確認する

…発熱や倦怠感などの疑われる症状がございましたら、まずかかりつけの医療機関へご相談ください。

### ③避難所での手洗い、咳エチケットなどを徹底する

…避難所では、定期的な手洗いと咳エチケット、検温、パーテーションでの間仕切り、可能な限りの換気などにご協力いただきます。また、身体の不調を感じた場合は、すぐに職員にお知らせください。

## 1 台風や大雨がくる前に

(1) 家庭内での話し合い…慌てずに行動できるよう、次の点について話し合っておきましょう。

- 役割分担 避難時に火元を確認する係、非常用持出品を持ち出す係、乳幼児や高齢者の避難を支援する係など
- 避難場所・ルート 最寄りの避難場所、そこまでのルートを実際に確認しておく

(2) 非常用持出品の準備・確認

避難するときにまず持ち出すものです。災害時すぐに持ち出せるように準備しておきましょう。

### ■ 非常食品

飲料水、乾パン、缶詰、缶切り、レトルト食品、チョコレートなど



### ■ 避難用具

懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池、ヘルメット、ホイッスルなど



### ■ 救急用品

けが用の薬(絆創膏、包帯、消毒液)、処方箋の控え、持病の薬など



### ■ 貴重品類

現金、10円硬貨(公衆電話用)、通帳、印鑑、健康保険証・運転免許証のコピーなど



### ■ 衣料品類・生活用品

下着、靴下、タオル、軍手、雨具、毛布、ライター、ろうそく、ビニール袋、ティッシュ、ビニールシート、紙おむつ、ほ乳瓶、生理用品、携帯用トイレ、携帯用カイロなど



## 2 台風や大雨が近づいてきたら…

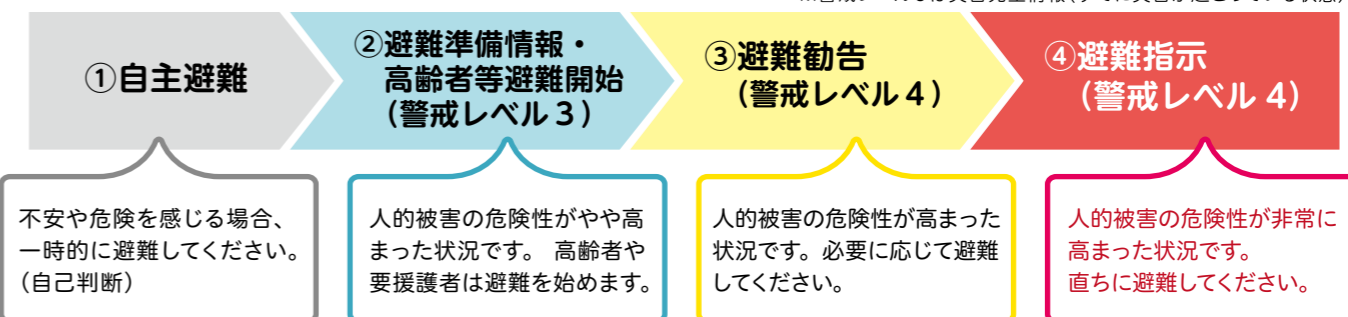
気象情報をチェックしましょう。

- テレビ・ラジオ… dボタンで地域情報を確認できます。
- 防災行政無線… 警報発令時は時間帯に関わらず放送します。
- インターネット…
  - 気象庁ホームページ 【<http://www.jma.go.jp>】 注意報・警報、雨雲の動きを確認できます。
  - 長崎県総合防災ポータル 【<http://www.pref.nagasaki.jp/sb/>】 緊急情報、被害情報、気象情報、注意報・警報、水位・土砂災害情報などが見られます。
  - 長与町ホームページ 【<https://webtown.nagayo.jp>】 警報、避難施設開設状況などが見られます。

## 3 危険が迫ったら…

不安や危険を感じたら、近所の人と声を掛け合い、**早めに避難**しましょう。戸締まり・火の元の確認を忘れずに! **町が提供する避難施設へ避難する場合は、まず地域安全課へご連絡ください。**(町ホームページにも施設の開設状況を掲載します)

※警戒レベル5は災害発生情報(すでに災害が起こっている状態)



## 4 地域のつながりを大切に「自主防災組織」をご存じですか?

自主防災組織とは、住んでいる地域住民が協力して、災害のときに助け合う組織です。

一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助・共助意識のもと、災害時の役割分担や、避難訓練、初期消火訓練などを普段から行い、万が一災害が発生したときに迅速かつ安全に行動できるよう組織されています。

現在町内の50自治会のうち47自治会で自主防災組織が結成され、活動を行っています。

### 地域のつながりを大切に

災害時は、地域のつながりや助け合いが何よりも大切です。特にお年寄りや体の不自由な方は、周りの人々の協力や介助が不可欠です。非常時に備え、普段から近所間の連絡を密にし、協力体制づくりを心がけましょう。



## 長与町の防災・行政無線放送を電話・メールで確認できます!

☎ 電話での確認方法(通話料無料) フリーダイヤル 0800-200-3312

✉ メールでの確認方法 ※登録したアドレスにメールで配信します(要事前登録)

### 登録方法

- ① 右記URLもしくはQRコードからアクセスしてください。【<https://mobile.nagayo.jp/mail/mobile/>】
- ② 「サービスを始めてみる」を押し、空メールを送信。
- ③ メールが届いたら、記載されているURLにアクセス。
- ④ 配信を希望する情報を選択後、「広域地域から選ぶ」を選択。
- ⑤ 登録完了画面が表示されます。

※登録に必要な個人情報はメールアドレスのみです。情報はこのサービスのためだけに使用します。登録料は無料ですが、メール受信にかかる通信料(1通あたり1~2円)は利用者の負担となります。

※迷惑メール防止機能をご使用の場合は、登録完了後、「mobile@mobile.nagayo.jp」からのメールを受信できるように設定しておいてください。



【QRコード】

## 災害用伝言ダイヤル「171」※ガイダンスが流れますので、落ち着いて指示に従ってください。

### 伝言の録音方法

1. ①⑦①に電話をかけます。
2. ①「録音」を押します。
3. 自宅の**固定電話**の番号を市外局番からダイヤルします。
4. メッセージを録音します。

### 伝言の再生方法

1. ①⑦①に電話をかけます。
2. ②「再生」を押します。
3. 連絡を取りたい被災地の方の**固定電話**の番号を市外局番からダイヤルします。
4. メッセージが再生されます。

### 「171」の体験利用ができます!

災害時以外にも、災害用伝言ダイヤル「171」を体験できるように「体験利用日」が設定されています。いざという時のために体験してみてください。

### 【体験利用日】

- 毎月1日・15日 ● 正月三が日(1月1日~3日)
- 防災とボランティア週間(1月15日~21日)
- 防災週間(8月30日~9月5日)